

国立学校等技術専門官研修報告

工学部・工学研究科技術部 林 達也

平成 15 年度の国立大学等技術専門官研修は、全国から 79 名の参加を得て 8 月 6 日から 8 日まで東京大学において開催された。名古屋大学からの参加者は、理・農・工学部から各一名であった。本研修の目的は、「国立学校等の技術専門官および技術専門官相当の職にある者に対して、必要な行政的職権の涵養を深めさせ、その職務に必要な専門的知識および技術を習得させると共に、技術の継承及び保存等に関し、指導的役割を果たせるよう、その資質の向上を図ること」とある。短期間の研修ではあったが、目的に沿った内容で緊張のなかに充実した時を過ごすことができ、参加させて頂き感謝している。

研修の概要を紹介します。(後述の日程表参照) 第 1 日目は開会式、オリエンテーションに続き、講義の最初は「人事行政上の諸問題」で、公務員の服務・倫理・セクハラ防止等、公務員として遵守すべき事項について具体的な事例を挙げて説明があり、自覚を新たにした。続いて「職場の安全管理」の講義は、最近の事故・災害発生事例や人事院規則 10-4 と労働安全衛生法が比較されて挙げられた。環境安全の系に属している私にとって、身近に迫っている法人化に備えて資格取得や設備改善等の対策に重点をおいた講義を期待していたが少し当てが外れた。

その後「大学行政上の諸問題」の講義は、実際に大学法人化の立法づくりに携わった人が講師で説得力があった。その一端を紹介したい。「・・・国立大学には国立大学の役割があり、日本の大学システムのバランスをとる役割を担っている。例えば、地域のバランス、学部教育と大学院教育のバランス、分野(理系・文系)のバランスをとっている。・・・国立大学を法人化し、マネジメントシステム(運営の仕方を変えていく)の改革が重要である。国立大学と文科省との関係をかえる。国立大学と社会との関係をかえる。国立大学の中をかえる。」等々、このことについて詳しい説明があり、法人化を生かすのも各大学自体にあるとのことであった。「学術行政上の諸問題」では、わが国の科学技術・学術の現状につき多くの例題を挙げ説明された。

2 日目に入り、堅苦しい講義中心から一転して「ストレスマネジメント」で実技を交えた柔らかい講義で職場や社会生活でのストレス解消に有益と思われた。

午後からはこの研修のメインの一つである「ポスターセッション」は 7 つの分野(機械、電気電子、情報処理、物理・化学、生物・生命科学、土木・建築、その他)を予稿集のポスター番号順に 4 つのグループに分け、一人 50 分の持ち時間で行った。私はコンクリートの耐久性の問題から「サーモグラフィーによる建物外壁診断」について発表した。色々質疑応答するなかで相互の情報交換ができ、さまざまな職場で技術職員が活躍していることがわかり、頑張らねばという思いを強くした。

3 日目の中心である「フリーディスカッション」は、参加者を 5 つの班に分けて実施された。テーマは、「技術専門官の立場としてのリーダーシップをいかに発揮していくか、また、技術の伝承・継承をしていくために今後どのようなことを考えていかなければならないか」であった。まず自己紹介が行なわれ、次に課題のテーマに特定せず、各職場での技術部の組織化や法人化への取り組み等が紹介された。それぞれの職場で技術の伝承にどう結び付けていくかを討論した。情報系や医療系の一部からは、技術の進歩が早すぎ情報機器や機械使用の修得は若い人の方が早く、技術の伝承は難しいという意見があった。一方、装置の製作や実験手順等種々の分野で技術の伝承が必要であ

るという意見も多かった。また、技術を継承するにも定員削減で伝える人がいないという状況も報告された。職場が大学、高専、研究機関とそれぞれ環境に違いがあり、技術部の組織化の取り組みについても大きな相違がみられた。いずれにせよ、技術部が組織化されることが必要であり、そのことでお互いに切磋琢磨して、技術を伝承してゆく必要性が確認された。名大の技術部が組織化では先行していることが知られており、注目された。この研修を縁として、多くの方々と知り合えたとともに視野を広げることができ、また、フリーディスカッションで司会をさせて頂いたことは、貴重な経験となった。3日間を通じて講義をされた講師の方々、お世話を頂いた文部省・東大の関係者の皆様に感謝致します。

研修日程

平成 15 年 8 月 6 日 (水)	平成 15 年 8 月 7 日(木)	平成 15 年 8 月 8 日(金)
会場：東京大学総合図書館	会場：東京大学山上会館	会場：東京大学山上会館
9時30分 受け付け	9時30分 「ストレスマネジメント」	9時30分 施設見学の説明
10時20分 開講式 文科省大臣官房人事課 課長 板東久美子 オリエンテーション	(株)東京ストレスメント 企画グループ チーフ 渡辺章二	9時40分 施設見学 ・総合研究博物館 ・医学部標本室 ・IML (インテリジェント・ モブリング・ラボラトリ)
11時00分 「人事行政上の諸問題」 文科省大臣官房人事課 主査 出澤 忠	11時00分 ポスターセッション準備	
12時00分 休憩	12時00分 休憩	12時00分 休憩
13時00分 「職場の安全管理」 文科省大臣官房福利厚生 室 室長補佐 高橋 修	13時00分 ポスターセッション	13時00分 フリーディスカッション
14時20分 「大学行政上の諸問題」 文科省高等教育局 専門教育課長 杉野 剛		15時00分 特別講演 「地球環境と森林」 東京大学 農学生命科学研究科 教授 鈴木和夫
15時30分 「学術行政上の諸問題」 文科省科学技術学術政策 局 企画官 舟橋 徹		
16時30分 ポスターセッション説明	16時30分 ポスターセッション片付 け	16時30分 閉講式
17時30分 懇談会		

